



\*\*\*\*\*

## 特集 NPO 法人新座子育てネットワークに訪問

3月26日(土)に、かるがも・ねっとが今後つくば市でどのようなネットワークをつくっていくことができるのかを考えていくために、他市で先進的に活動しているNPO法人新座子育てネットワークを訪問し、代表の坂本純子さんにお話を伺いました。

訪問する前に、世話人会から、①子育てサポーター養成と子育てサポーターの登録制について、②市や企業とどのような連携・協力をつくってきたのか、③市内にある他団体(特に子育てサークル)とどのような関係をつくっているのか、④どのような運営の仕方をしているのか、の4点について伺いたいと知らせてありました。当日は、この4点に関して、まず、坂本さんからお話を伺い、その後自由に参加者が質問していきました。ここでは、主に①から③に関する坂本さんのお話を紹介していくことにします。

### NPO 法人新座子育てネットワークの概要

#### ★発足の経緯★

1999年9月に、新座子育てネットワーク(以下、新座と表します。)が発足しています。子育てサークルを卒業するにあたって、これまで活動の中で感じてきた様々な課題を広く捉えたいと思い、コミュニティセンターの社会教育指導員に相談したところ、「サークルサミット」を開催しないかと提案されました。この「サミット」をきっかけに、手遊び講習会を開くことになり、これが新座子育てネットワークの発足になりました。ちなみに、この手遊び講習会は、現在月1回実施している「子育てサロン」の原型です。なお、2003年11月にNPO法人を取得しています。

\*子育てサロンとは? : 親子の居場所、出会いの場、学びの場、情報交流の場として、市内4カ所で毎月1回開催しています。つくば市で言えば、公民館や児童館で行っている「子育て休憩室」や「こじゅけい」の様な感じです。ノン・プログラム形式で、子育てサポーター6~8名程度によるチーム運営で行われています。

#### ☆団体の目的☆

地域の子育て中の家族とそれを支援する地域住民や関係機関、そして社会に対して、子育て・子育て環境の向上に資する活動を幅広く行い、社会全体の子育て・家庭教育支援の充実および次世代育成に寄与することを、事業の目的とする。

#### ★どんな事業をしているの★

子育てサポーターの養成/子育てサロン/ステップサロン(2歳前後の用事と親対象のプログラム)/お母さんのはあとタイム(軽度の育児不安を抱える親のための語りの場)/子育て支援センター運営委託「るーえん」/ミニ子育て支援センター運営委託「セサミ」/保育支援(講座や子育てサークル活動の際に、子どもの保育を支援)/育児学級へのプログラム提供/新座っ子ぱわーあっぷくらぶ「地球クラブ」(子どもの居場所づくり事業の一環として、学童向け土曜日開催クラブ)/お母さんの手作り教室/「子育て情報誌」講座の実施/「ネットワーク通信」の発行など・・・

\*詳しい内容は、新座のホームページをご覧ください(活動記録もありました)。

HP: [homepage2.nifty.com/niiza\\_net/](http://homepage2.nifty.com/niiza_net/)

## 1. 子育てサポーター養成とサポーターの登録制

子育てサポーターは、子育てサロンや子育て支援センターなどで、子育て中の親の身近な相談相手として、気軽に相談に応じ、きめ細かいアドバイスを行うなどの活動をしています。また、保育支援として、家庭教育学級や託児付き講座、他サークルの活動などに派遣され、子どもの保育を行うこともあります。この子育てサポーターになるにあたって、子育てサポーター養成講座全10回を受講してもらう必要があります。

子育てサポーターの養成は、教育委員会生涯学習課から子育て支援ネットワーク事業として人材育成に予算がつくので、やらないかと持ちかけられてのことです。そのため、2000年に、市と一緒に企画から行っていきました。また、プログラムの内容に関しては、地元の大学の先生にも協力してもらいました。初年度は、50名程度が参加しました。現在は、20名程度の参加者がいます。内容は、今日の子育て状況に関する講義、保育の技術、子育て中の親への対応の仕方、救急処置、子育て支援の関係機関の紹介、子育てサポーターの活動の紹介、実習などです。この講座を受けた人の7割程度が、新座子育てネットワークのサポーター登録制に登録して、活動しています。現在、子育てサポーター養成講座は、委託や共催ではなく、新座が単独で行っています。

講座を受けたといっても、サポーターの仕事は、現場で活動しながら覚えてもらうことが多いです。毎回の活動の後にふり返りを行い、その結果を運営委員会で報告してもらっています。サポーターになってしばらくの間は、指導的な立場のメンバーがその人を集中的にフォローしています。また、サポーターが活動を続けていく中で、ステップアップできるように、講習会を開いたり、他のサロンをお互いに見学しあうことを通じて、自分の課題を考えてもらったりというようなこともしています。

登録をすませたサポーターは、子育てサロンの活動、外部からの依頼による保育支援などに関わってもらっています。現在、サポーター登録している人は、50名です。サポーターの活動は、グループで行うことが多いです。例えば、子育てサロンでは、それぞれの施設ごとにチームを組み、企画・運営にあたっています。新規で関わるサポーターは、登録後に、子育てサロンなどを一通り見学し、やりたいチームに加わってもらっています。外部からの依頼される仕事などでは、コーディネーターが間に入り、内容に適したサポーターにお願いしています。

## 2. 市との連携

これまでに、新座では、教育委員会生涯学習課や子育て支援課と協働してきています。現在、市からの委託事業は、保育園の2階で実施している地域子育て支援センターと一時保育の事業（「るーえん」）、児童センターで実施しているミニ子育て支援センター（「セサミ」）、広場事業（「子育てサロン」）などがあります。それ以外には、保健センターや保育所で行われる育児学級に行くことがあったり、反対に、各子育てサロンに年1回地区保健師さんに来て頂くことがあったりします。また、子育てサロンに関しては、様々な主催（NPO 法人新座子育てネットワーク、生涯学習課、子育て支援課）が実施していますが、利用者側の立場を考え、主催者の違いに関わらず、すべてをまとめて、ひとつのチラシで広報するという工夫をしています。

市から予算をいただいてやっているものは、既に団体でやっていることに、後からお金がついてきたものが多いです。例えば、子育てサポーター養成講座や子育て情報誌の冊子づくりなど、行政と企画から協働でやったもののいくつかは、はじめは0資金だったものもあります。そのうち、市の方で、どこからか資金を探して、持ってきてくれることがあります。

基本的にお金が無くても、必要だと思うものはどんどんやっていきます。自分たちがやってみて、やっぱり必要とされていると感じたものに関しては、大学の先生の知恵を借りつつ、市に働きかけをしていっています。ただ、新座市の行政は早くから市民参加型でやるという気風があったようで、協働していくことがやりやすいようです。

## 3. 市内の他団体との連携

はじめは、子育てサークルの団体単位で参加してもらうことを考えていました。ただ、実際にやってみると、子育てサークルでは、メンバー全員の合意を得るのが難しいため、サークルごとに参加する仕組みをとると、参加が事実上困難になるということがあられるようです。そのため、個人で参加したいという申し込みが多く、すぐに、個人参加を中心になりました。



## ♡♡お知らせ♡♡

### ① 学習会とネットワークづくりのミーティングを交互に開催予定。

3月26日の新座訪問の際に、かるがも・ねっとの4月からの運営に関して、短い時間ですが、話し合いました。その際、現在毎月1回行われている学習会を隔月に1回にしていくことが検討されました。それと同時に、かるがも・ねっとが、そこに関わっている機関・団体・個人をよりサポートしていけるように、ネットワークとしての活動を考えていくミーティングを隔月に1回開いていくことが提案されました。そこで、学習会とミーティングを交互に開催していく方向で検討しています。詳細は、4月18日（月）の話し合いにて、決めていくこととなります。

### ② 「(仮)かるがもミーティング」。

今回特集をしたNPO法人新座子育てネットワーク訪問に関する報告会を、参加者の感想を交えながら行います。その後、2005年度に、「かるがも・ねっと」として何を行っていくのか、今年度の活動に関する話し合いを行います。ご参加ください。

日時：4月18日（月）13：30～16：00

場所：桜庁舎第1会議室

### ③ ニュース・レター発行も隔月1回に。

ニュース・レターは、これまで学習会終了後、学習会の内容を伝えることを目的として発行してきました。学習会が隔月になることに伴い、これまでの毎月発行から隔月発行に変更させていただきます。隔月になることに伴い、ニュース・レターの内容を充実していくことができるように、務めていきたいと思っております。ニュース・レターに関するご意見・ご感想などがありましたら、下記までぜひお寄せください。（編集担当より）

問い合わせ先：FAX 029-853-4829／メール edu\_socio@yahoo.co.jp

### ④ 募集！！

☆ 子育て支援に関するイベントや情報などを募集しています。

ニュース・レターは偶数月7日頃に発行する予定です。それにあわせて、イベントの情報（タイトル、内容、開催日時、場所、問い合わせ先）をお知らせください。

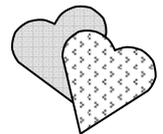
\* 奇数月の30日までに下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

☆ ニュース・レターに使用するイラストを募集しています！

「花、家、子ども、親子、動物、飾り、季節もの」などのイラストを募集します。

問い合わせ先：FAX 029-853-4829／メール edu\_socio@yahoo.co.jp

（筑波大学教育社会学研究室）



発行：つくば市子育て支援ネットワーク **かるがも・ねっと**（設立準備委員会）

「かるがも・ねっと」は、つくば市にある子育て支援に関わる機関・団体・サークル、ボランティアのネットワークでつくられています。

発行日：2005年3月5日

編集：渡辺恵

問い合わせ先：edu\_socio@yahoo.co.jp／FAX：029-853-4829（筑波大学教育社会学研究室）